



令和8年度2回目の村有図書を 59冊購入しました！

今年度2回目となる「村有図書」に購入を行い、役場玄関横の「図書コーナー」の新着図書コーナーに配架しました。第175回芥川賞・直木賞候補作および受賞作、有名書店での人気上位ランク入りしている本など、話題作をピックアップしてみました。どうぞ、役場の図書コーナーにお越しください。（赤井川村教育委員会）

<北海道の本>

『アイヌカよ！』 宇梶静江

<小説>

『#台所のあるところ』 原田ひ香 第175回直木賞候補作

『多類婚姻譚』 凧良ゆう 第175回直木賞候補作

『ゾンビ回収婦』 小砂川チト 第175回芥川賞受賞作

『アンチ・グッドモーニング』 八木詠美 第175回芥川賞候補作

『謎の香りはパン屋から』 2025 このミス大賞受賞作 『謎の香りはパン屋から2』 土屋うさぎ

『最後の皇帝と謎解きを』 犬丸幸平 2026 このミス大賞受賞作

『光と糸』 ハン・ガン 2024 ノーベル文学賞受賞作家・受賞後の第一作

『カンザキさん』 ピンク地底人3号 第47回野間文芸新人賞受賞作

『9月1日の朝へ』 柳月美智子

『異常に非ず』 桜木紫乃

『あの冬の流星』 朝倉宏景

『ほくほくおいも党』 上村裕香

『夏帆 The tale of KAHO』 村上春樹

『まどろみの星たち』 菰野江名

『アイ・ウォント・ホールド・ユア・ハンド』 小路幸也

『月がきれいな夜に、誰かに思い出してほしかった』 川代紗生

『コズミック・ガール 宙わたる教室』 伊与原新 『猿』 京極夏彦



<歴史小説>

『けんぐわい』 朝倉かすみ 第175回直木賞受賞作（小樽市出身・札幌市在住）

『見えるか保己一』 蟬谷めぐ実 第175回直木賞候補作

『雀ちょっちょ』 村木嵐

<エッセイ・芸能>

『幸せの大盤振る舞い』 美輪明宏

『鶏まみれ』 繁延あづさ

『いつもの場所に今もあなたがいるようで』 大森あきこ



<自己啓発・健康・スポーツ>

『半うつ 憂鬱以上、うつ未満』 平光源
『会話の0.2秒を言語学する』 水野太貴
『折れない心、折れない体、折れない翼』 葛西紀明



<社会・歴史・政治・環境・その他>

『仮放免の子どもたち』 池尾伸一 『日本人に宗教は要らない』 ネルケ無方
『原発を止めた人びと 奥能登・珠洲 震源地からの伝言』 七沢潔
『原発回帰を考える 3・11から15年目の大転換』 日本ペンクラブ
『日本列島にせまる脅威 巨大地震はなぜ起きるか』 遠田晋
『Z世代は戦後初めて銃をとる世代になるかもしれない』 丹羽宇一郎

<新書>

『水木しげると京極夏彦』 朝里樹 『ぼくたちはどう老いるか』 高橋源一郎
『本を読めなくなった人たち』 稲田豊史

<文庫・歴史文庫>

『こちらはただの「落とし物係」です』 仁科裕貴 『近現代短歌』 穂村弘
『プロジェクト・ヘイル・メアリー』（上・下） アンディー・ウィアー
『針ざむらい』『針ざむらい2』 横山起也
『銀河ホテルの居候 満天の星を見上げて』 ほしおさなえ
『大好きな人、死んでくれてありがとう』 まさきとしか
『元カレの猫が、居座りまして』 石田祥
『ひかりの魔女 よつば旅館の巻』 山本甲士



<子ども向け図書>（健康支援センターにあります）

『パンダなりきりたいそう』 いりやまさとし
『しりとりにあそびえほん』 石津ちひろ／荒井良二
『新装版 ゆきがやんだら』 酒井駒子
『ごきげんななめなおさるさん』 スザンヌ・ラング／マックス・ラング
『おばけのマールとおかしなとけいだい』 なかいれい／けーたろう
『地理学者シリアへ行く』 小口高氏／山本美希
『荒野にヒバリをさがして』 アンソニー・マゴーワン
『時空をこえた大発見！ 「宇宙のさざ波」を聞く』 パトリシア・バルデス／サラ・パラシオス
『ほら、トラがいる』 フィリップ・アーダ／ディビッド・メリング



◎購入希望書籍がある方は、「村有図書貸出簿」の最後にある『購入希望欄』にお書きください。購入する際の参考にいたします。

◎この「図書コーナーだより」は、は赤井川村ホームページでもご覧いただくことができます。